

11月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
絵本	11月5日	183786	あのこはね	福田 利之	1600	A5判上	40	株式会社SPOONにて佐藤邦雄に師事した後、独立し、イラストレーターとしての活動を始める。広告、CDジャケット、絵本、雑貨、テキスタイル制作など、幅広く手掛けている。主な著書に『福田利之作品集』（玄光社）、）、主な装画に『52ヘルツのクジラたち』（町田そのこ・著／中央公論新社）、『クララとお日さま』（カズオ・イシグロ・著／早川書房）など多数。	かなしいきもち、うれしいきもち、たのしいきもち……突然あらわれるいろんなきもちは、どこからくるの？ やっていいことと、悪いことの間で葛藤しながら、大人に近づいていく子供の成長を描いた絵本です。子供の視線をとおしてみる世界は、どこか少しファンタジー。ページをめくるごとに、広がる世界をお楽しみください。自身の幼いころを思い起こしながら、またお子様といっしょになど、それぞれの楽しみ方をしていただきたい1冊です。
エッセイ	11月11日	183793	私のまんまで生きてきた。	平野 レミ	1500	四六変型並	192	料理愛好家、シャンソン歌手。主婦として料理を作り続けた経験を生かし、NHK「平野レミの早わざレシピ」などテレビ、雑誌を通じて数々のアイデア料理を発信。また、レミパンやエプロンなどのキッチングッズの開発も手がける。2022年、『おいしい子育て』（ポプラ社）で第9回料理レシピ本大賞エッセイ賞受賞。	「嫌な人とは付き合わなくていいの」「満足できない毎日のほうがいいじゃない」「立っているものはいずれ倒れるでしょ」。平野レミさんの人生哲学が詰まった渾身の言葉集。ずっと元気で生きるための思考法、料理に対する心構え、2人の息子の子育て方針、両親の教え、嫁との上手な付き合い方、最愛の夫・和田誠さんとの思い出……レミさんの大きな声で再生される100の言葉たち。イラストと貴重な写真もふんだんに収録。前向きに生きる力がきっと湧いてきます。
実用	11月11日	183809	読み書きが苦手な子を見守るあなたへ 発達性読み書き障害のぼくが父になるまで	著：関口裕昭 監修：宇野彰 イラスト：千葉リョウコ	1400	A5判並	160	関口裕昭：発達性読み書き障害の当事者であり、子どもと関わる言語聴覚士。読み書きの苦手な方が生きやすい社会を目指し、活動を続けている。現在は育児と仕事の両立に奮闘中のパパでもある。宇野彰：筑波大学元教授、発達性ディスレクシア研究会理事長、NPO法人LD・Dyslexiaセンター理事長。医学博士。言語聴覚士。読み書きが困難な子どもたちの指導をするかたわら、指導ができる先生を増やすために尽力している。	読み書きの苦手な子は、40人クラスに約3人！ 好評『うちの子は字が書けない』シリーズ第3弾は、発達性読み書き障害とともに歩んできた当事者である「ぼく」が、これまでの歩みと未来を語る。原因がわからず学校の課題をこなせなかつたくやしさを、苦しさを。障害を理解し、将来を模索し続けた日々。自立するとはどういうことか、学校や家族ができる、よりよい支援の形とは何か。発達性読み書き障害について、発信を続け、理解を深めていくことの意味。言語聴覚士、また父として日々奮闘する著者の、希望と決意に満ちたメッセージ。

10月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	10月1日	183427	冷たい恋と雪の密室	綾崎 隼	1750	四六判並	320	1981年新潟県生まれ。2009年、第16回電撃小説大賞〈選考委員奨励賞〉を受賞し、『蒼空時雨』（メディアワークス文庫）でデビュー。受賞作を含む「花鳥風月」シリーズ、「君と時計」シリーズ（講談社）、『盤上に君はもういない』『この銀盤を君と跳ぶ』（KADOKAWA）など著作多数。『死にたがりの君に贈る物語』は10万部を突破した。	2018年1月、新潟県三条市でJR信越線が大雪で立ち往生。電車で閉じこめられ、15時間“密室”となった車内で、熱い恋が動き出す……！ センター試験を2日後に控えた高校生たちが乗った大混雑の電車内で、地元の友人、静時と再会した博人は、彼が博人の思いを寄せる幼馴染・千春からメッセージを受け取るのを見てしまい――？ 実際の事件を基に、ラストのどんでん返しまで鮮やかに描き切る、著者待望の恋愛ミステリ。
文芸	10月7日	183410	小鳥とリムジン	小川 糸	1700	四六判上	304	1973年生まれ。2008年『食堂かたつむり』にてデビュー。『ライオンのおやつ』は2020年本屋大賞第2位。その他『喋々囁々』『ファミリーツリー』『ツバキ文具店』『キラキラ共和国』『椿ノ恋文』など著書多数。	『食堂かたつむり』で「食べること」を通して、『ライオンのおやつ』で「死にむかうこと」を通して「生きること」を描いた小川糸が描き出す、3つめの「生」の物語。愛することは、生きること――苦しい環境にあり、人を信頼することをあきらめ、自分の人生すらもあきらめていた主人公が、かけがえのない人たちと出逢うことで自らの心と体を取り戻していく。勇気を出してお弁当屋さんのドアを開けたことが彼女の人生を変えていく。
エッセイ	10月7日	183441	日々更新。	引田 かおり	1600	A5判並	160	1958年東京生まれ。吉祥寺にあるギャラリー「fe`ve」のオーナー。2003年にオープンしてから毎日の暮らしが素敵になる様々な展示、販売を行なっている。パン屋ダンディソを開業。一男一女あり。著書多数	「こうしなきゃ」をどンドン手放せば、いくつになっても生まれ変わる。家をできる範囲で気持ちよく整えて、不要なものは潔く手放す。旬なものを「美味しい」としっかり感じて食べ続けていると、自然と気持ちや体が整ってきます。本書では、食、花、服で四季を感じ、習慣や行事を自分らしく楽しむ方法を、文章と写真で紹介。春夏秋冬の植物、料理、洋服、背中をおしてくれる文章など、暮らしの楽しみ方が広がるヒントが満載。
実用	10月15日	183007	なぜ、愛は毒になってしまうのか	中野 信子	1400	四六変型判並	224	東京都生まれ。脳科学者、医学博士。東日本国際大学特任教授、森美術館理事。脳や心理学をテーマに研究や執筆の活動を精力的に行う。『脳の闇』、『新版科学がつきとめた「運のいい人」』、『人は、なぜさみしさに苦しむのか』など著書多数。	毒親育ちのあなたと毒親になりたくないあなたに贈ります。●親を憎んでしまうのは、自分のせい？ ●なぜ、子どもを束縛したくなる？ ●こんなに愛しているのに、なぜ憎くなる？……日本の殺人事件のうち、実に55%が親族間殺人。殺人事件の件数は減っているのに、家族間の憎しみは増えている。距離が近い分憎しみが増していく、『家』という組織の中で一体何が起きているのでしょうか？
エッセイ	10月15日	183434	日本語境界	川添 愛 ふかわりょう	1600	四六判並	256	川添愛：九州大学卒。言語学や情報科学をテーマに著作活動を行う。著書に『働きたくないイタチと言葉がわかるロボット』『ふだん使いの言語学』『言語学パーリ・トゥード』など。ふかわりょう：慶應義塾大学在学中の20歳でお笑い芸人としてデビュー。テレビ・ラジオほか、DJや執筆など、その活動は多岐にわたる。近著に『ひとりて生きるって決めたんだ』『世の中と足並みがそろわない』など。	ちょっとした日本語の言い回しの違いなどでモヤモヤしているふかわさんと気鋭の言語学者・川添愛さんが、「言語学」という枠を超えて、日本語のユニークさと奥深さを見直す異色の対談集。
写真集	10月7日	183885	パリオリンピック TEAM JAPAN 日本オリンピック委員会公式写真集2024	公益財団法人日本 オリンピック委員会 (JOC)	6000	B4変型判上	256		パリ2024オリンピックにおける、TEAM JAPAN（日本代表選手団）の活躍をまとめた日本オリンピック委員会（JOC）が監修する唯一の公式写真集。TEAM JAPANの顔写真紹介、メダリストのサイン、全競技結果と日本代表選手の成績を網羅しています。JOCオフィシャルフォトチームのアフロスポーツと、世界的な通信社であるAP、ロイターの写真で構成。